



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括 (氏名) 古川 雅啓

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,456	△5.6	△630	—	△391	—	△425	—
2022年3月期第1四半期	4,721	107.0	△241	—	△55	—	△108	—

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 619百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△26.56	—
2022年3月期第1四半期	△6.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	42,329	32,764	77.4
2022年3月期	42,234	32,145	76.1

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 32,764百万円 2022年3月期 32,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	11.0	100	—	300	—	200	—	12.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	17,319,568 株	2022年3月期	17,319,568 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,294,851 株	2022年3月期	1,294,494 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	16,024,852 株	2022年3月期1Q	16,027,933 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢などによって資源・エネルギー価格上昇に拍車がかかったことや、外国為替相場での急激な円安進行、中国におけるゼロコロナ政策による都市封鎖等の影響から、先行きは不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、物価上昇によるインフレ及び実質賃金の低下から消費者の生活防衛意識が高まったことによる消費マインドの低下等により依然として厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』をスタートさせました。『ATSUGI VISION 2024』では、この期間を「足場固めの3年間」と位置付け、顧客ニーズの変化と多様性に的確に対応したうえで、「事業ポートフォリオの強化」、「生産体制の再編による収益基盤の強化」、「資本の効率化」の3つの重点課題に取り組むことにより収益性を高めることに注力し、将来の持続的成長のための安定した財務基盤の確立を目指してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,456百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業損失は630百万円（前年同四半期は241百万円の損失）、経常損失は391百万円（前年同四半期は55百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は425百万円（前年同四半期は108百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

レグウェア分野は、徐々に人流が回復し行動制限の緩和の動きによる個人消費の持ち直しを想定したものの、依然として在宅勤務や外出自粛の動きが見られたことから、プレーンストックを中心とした春夏物商品は苦戦し、同分野の売上高は2,433百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

インナーウェア分野は、主力のショーツなどは底堅く推移しましたが、紳士肌着などの苦戦により、同分野の売上高は1,699百万円（前年同四半期比9.7%減）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は4,133百万円（前年同四半期比5.9%減）、営業損失は726百万円（前年同四半期は310百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は130百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益は92百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少いたしました。介護用品の販売は苦戦しましたが、認知症高齢者向け介護施設であるグループホームは堅調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は192百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は25百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は42,329百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。これは主に、売上債権の減少1,314百万円、現金及び預金の減少850百万円、流動資産のその他に含まれるデリバティブ債権の増加674百万円、棚卸資産の増加601百万円、有形固定資産の増加520百万円、投資有価証券の増加265百万円及び流動資産のその他に含まれる前渡金の増加196百万円等によるものであります。

負債の部は9,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ524百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金の減少605百万円等によるものであります。

純資産の部は32,764百万円となり、前連結会計年度末に比べ618百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失425百万円の計上およびその他の包括利益累計額の増加1,044百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は77.4%（前連結会計年度末は76.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,309	5,458
受取手形及び売掛金	4,204	2,890
商品及び製品	4,854	5,248
仕掛品	1,149	1,060
原材料及び貯蔵品	510	806
その他	1,520	2,323
貸倒引当金	△24	△27
流動資産合計	18,524	17,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,364	1,870
機械装置及び運搬具(純額)	1,681	1,920
土地	12,182	12,182
建設仮勘定	514	263
その他(純額)	75	101
有形固定資産合計	15,818	16,339
無形固定資産	471	551
投資その他の資産		
投資有価証券	7,201	7,467
繰延税金資産	9	0
その他	209	209
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,419	7,676
固定資産合計	23,709	24,567
資産合計	42,234	42,329

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,065	2,272
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払法人税等	93	42
賞与引当金	77	30
その他	2,215	1,449
流動負債合計	4,922	4,265
固定負債		
長期借入金	1,380	1,262
繰延税金負債	1,154	1,459
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付に係る負債	1,090	1,035
その他	254	255
固定負債合計	5,166	5,299
負債合計	10,088	9,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	12,042	10,272
利益剰余金	△2,630	△1,286
自己株式	△1,466	△1,466
株主資本合計	27,945	27,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,850	2,031
繰延ヘッジ損益	459	928
土地再評価差額金	388	388
為替換算調整勘定	1,500	1,897
その他の包括利益累計額合計	4,200	5,245
純資産合計	32,145	32,764
負債純資産合計	42,234	42,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,721	4,456
売上原価	3,282	3,289
売上総利益	1,438	1,166
販売費及び一般管理費	1,680	1,796
営業損失(△)	△241	△630
営業外収益		
受取利息及び配当金	95	108
持分法による投資利益	1	—
為替差益	20	119
補助金収入	41	—
その他	35	18
営業外収益合計	194	246
営業外費用		
支払利息	3	2
租税公課	0	0
その他	4	3
営業外費用合計	8	6
経常損失(△)	△55	△391
特別利益		
固定資産売却益	27	8
特別利益合計	27	8
特別損失		
固定資産除却損	0	5
減損損失	26	—
特別損失合計	26	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△54	△388
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	45	31
法人税等合計	52	37
四半期純損失(△)	△106	△425
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△108	△425

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△106	△425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	180
繰延ヘッジ損益	59	468
為替換算調整勘定	89	396
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	—
その他の包括利益合計	17	1,044
四半期包括利益	△88	619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△93	619
非支配株主に係る四半期包括利益	4	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月29日開催の第96回定時株主総会決議により、その他資本剰余金を1,770百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	2,510	—	2,510	—	2,510	—	2,510
インナーウェア	1,882	—	1,882	—	1,882	—	1,882
その他	—	3	3	196	200	—	200
顧客との契約から生じる収益	4,392	3	4,396	196	4,592	—	4,592
その他の収益	—	128	128	—	128	—	128
外部顧客への売上高	4,392	132	4,525	196	4,721	—	4,721
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	4,392	132	4,525	196	4,721	△0	4,721
セグメント利益又は損失(△)	△310	94	△215	22	△193	△48	△241

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	2,433	—	2,433	—	2,433	—	2,433
インナーウェア	1,699	—	1,699	—	1,699	—	1,699
その他	—	0	0	192	192	—	192
顧客との契約から生じる収益	4,133	0	4,133	192	4,325	—	4,325
その他の収益	—	130	130	—	130	—	130
外部顧客への売上高	4,133	130	4,263	192	4,456	—	4,456
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,133	130	4,263	192	4,456	—	4,456
セグメント利益又は損失(△)	△726	92	△633	25	△608	△22	△630

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。